

国土交通省

バリアフリー化推進功労者 大臣表彰式



平成 23 年 1 月

目次

■ プログラム	2
---------	---

■ バリアフリー化推進功労者大臣表彰について	3
------------------------	---

■ 講 評	4
-------	---

- 秋山 哲男 委員 (国土交通省バリアフリー化推進功労者表彰選考委員会 委員長)
- 高橋 儀平 委員 (東洋大学 教授)
- 三星 昭宏 委員 (近畿大学 教授)

■ 受賞者事例報告

・ 障害当事者等の参画による空港のバリアフリー化	6
(北海道空港株式会社)	
・ 空港ビルと駅が一体となった先導的なバリアフリー化	8
(東京国際空港ターミナル株式会社・京浜急行電鉄株式会社・東京モノレール株式会社)	
・ 銀行店舗における全国的なバリアフリー化	10
(株式会社みずほ銀行)	
・ 重要文化財を活かした寺社地のバリアフリー化	12
(音羽山 清水寺)	
・ 鉄道事業者と複数自治体の連携による桃山台駅及び周辺のバリアフリー化	14
(北大阪急行電鉄株式会社・吹田市・豊中市)	

プログラム

■ 選考委員からの講評

13:00～13:20

国土交通省バリアフリー化推進功労者表彰選考委員会 委員長 秋山 哲男 氏

■ 受賞事例報告 ～受賞者より～

13:20～14:30

北海道空港株式会社

新設の国際線ターミナルにおいて、基本設計時から有識者や障害当事者等による検討委員会などの意見を設計や工事に反映。手動車いすで利用できる一般便房、弱視者に配慮した設備、エスカレーター逆進入防止設備、6カ国語によるサインの整備など、高度なバリアフリー化を実現。

東京国際空港ターミナル株式会社・京浜急行電鉄株式会社・ 東京モノレール株式会社

新設の国際線ターミナルにおいて、有識者や障害当事者等のほか関係事業者が参加した検討委員会などの意見を設計や工事に反映。鉄道駅ホーム階と到着・出発階を直接結ぶ大型エレベーターの整備や、モノレールのホームから出発ロビーまでフラットな動線の確保など、施設全体における高度なバリアフリー化を実現。

株式会社みずほ銀行

誰にでも利用しやすい銀行を目指した「ハートフルプロジェクト」を立ち上げ、全店統一の改修基準を定め、店舗における段差解消、車いすでも利用できるトイレ・駐車場、視覚障害者対応ATMなどの整備を実施したほか、障害の種別に応じた対応マニュアルの整備をするなど、利用しやすい銀行店舗づくりを実施。

音羽山 清水寺

国宝・重要文化財として改修上の制約が多く、また高低差の大きい傾斜地において、障害者等用の車によるアクセスを確保し、車いす用の参道の舗装や音羽の滝付近の大規模改修によるスロープ整備をはじめとする境内一周ルートの整備のほか、複数箇所の多機能トイレ整備など、寺社地のバリアフリー化を実施。

北大阪急行電鉄株式会社・吹田市・豊中市

傾斜地の谷部にあり市境に位置する鉄道駅において、関係両市が共同でバリアフリー基本構想を策定するとともに、駅舎を新たに設置し、エレベーターや国道を立体横断する通路等を整備して周辺住宅地へのフラットなルートを確保し、既存鉄道駅において事業者と地方公共団体が一体となったバリアフリー化を実現。

■ 表彰状授与

14:30～15:00

バリアフリー化推進功労者 大臣表彰について

国土交通省では、平成18年12月施行の「バリアフリー新法」（高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律）の趣旨を踏まえ、公共交通機関、道路、建築物などの総合的かつ一体的なバリアフリー化を進めるとともに、国民のバリアフリーに関する意識啓発にもより一層努めることとしております。

このため、国土交通分野におけるバリアフリー化の推進に多大な貢献が認められた個人又は団体を表彰し、優れた取組みについて広く普及・奨励することを目的として、平成19年度に、国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰制度を創設いたしました。

第4回となる今回も多く優れた取組みを推薦頂き、なかでも特に優れた取組みを表彰することとなりました。今後とも、この制度により優れた取組みを普及・奨励することによって、国土交通分野におけるバリアフリー化に向けた取組みがより一層推進することを期待しております。

◆ 表彰対象 ◆

バリアフリー化の推進に向けて国土交通分野における多大な貢献が認められ、かつ、顕著な功績又は、功労のあったと考えられる個人又は団体です。

◆ 選定方法 ◆

国土交通省バリアフリー化推進功労者表彰選考委員会において、本省内部部局及び地方局等から推薦のあった候補案件の中から表彰対象を選考し、最終的に国土交通大臣が決定します。

◆ 国土交通省バリアフリー化推進功労者表彰選考委員会 ◆

国土交通省バリアフリー化推進功労者表彰選考委員会の委員は、以下のとおりです。

秋山 哲男 国土交通省バリアフリー化推進功労者表彰選考委員会 委員長
高橋 儀平 東洋大学 教授
三星 昭宏 近畿大学 教授

◆ 第4回受賞者の決定 ◆

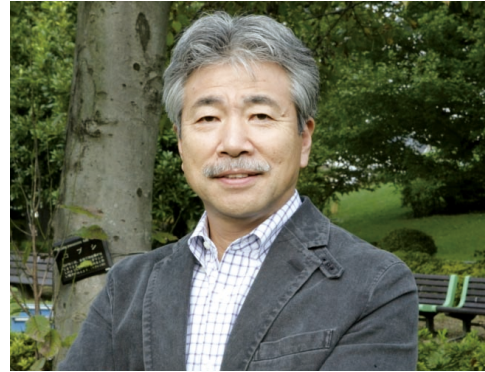
19の候補者の中から選考委員会の審査を経て、5件の表彰対象を決定しました。

第4回となる今年度の表彰においては、全国各地から19件のご推薦をいただきました。全国において、着実にバリアフリー化への取組みが展開されつつあることがうかがえます。

全19件は、ハード面（施設整備等）からソフト面（支援活動等）に渡る幅広い取組みをご推薦いただきました。特に、今年度は鉄道、船舶、航空などの多様な公共交通や様々な種類の建築物に関わるバリアフリー化の取組みがあり、また、施設等の整備に当たって、設計段階のほか特に施工段階でも高齢者・障害者等の方々の意見を取り入れた取組みが目立ち、多様な分野におけるバリアフリー化の取組みが深化しつつあることが感じられました。

表彰対象の選考に当たっては、ハード面の取組みについては、施設等の整備水準が高いことや、高齢者・障害者等の方々のご意見を多段階で十分取り入れていること、表彰を通じて今後の同様の取組みによりバリアフリー化の展開が一層拡大していくことが期待されることなどを考慮して評価しました。

また、ソフト面の取組みについては、地道であっても継続的に取組みが積み重ねられてきていることや、バリアフリー化が求められる多様な場面に対応して活動が行われていること、さらには、同



高橋 儀平 委員
(東洋大学 教授)

様の活動分野において今後さらなる取組みの展開が期待されることなどを考慮して評価しました。

「北海道空港株式会社」につきましては、新千歳空港国際線ターミナルビルの新設に当たり、基本設計時から、有識者や障害当事者等によるユニバーサルデザイン検討委員会のほか多様な障害者が参加した当事者ワーキングチームやユニバーサルデザインの専門家ワーキングチームを高い頻度で開催して、障害当事者等の意見を設計や工事に反映し、その結果、手動車いす使用者が利用できる一般便房や、弱視者に配慮した設備、エスカレーターへの逆進入防止設備、6カ国語によるサインの整備など、高度なバリアフリー化を実現したことを高く評価し、表彰対象といたしました。

「東京国際空港ターミナル株式会社・京浜急行電鉄株式会社・東京モノレール株式会社」につきましては、東京空港国際線ターミナルビルの新設に当たり、有識者や障害当事者等のほか、受賞者3者が参加したユニバーサルデザイン検討委員会を立ち上げ、多様な障害者が参加した当事者ワークショップを高頻度で開催して、障害当事者等の意見を設計や工事に反映し、その結果、ターミナルビル全体においてユニバーサルデザインに配慮したほか、鉄道駅ホーム階と空港の到着・出発階を直接結ぶ大型エレベーターの整備や、モノレールのホームから出発口



秋山 哲男 委員
(国土交通省バリアフリー化推進功労者表彰選考委員会 委員長)

ビーまでフラットな動線の確保、エレベーターにおける聴覚障害者への災害時対応設備や案内所への磁気ループ設備の整備など、施設全体における高度なバリアフリー化を連携して実現したことを高く評価し、表彰対象といたしました。

「株式会社みずほ銀行」につきましては、誰にでも利用しやすい銀行を目指した「ハートフルプロジェクト」を立ち上げ、有識者によるアドバイスをふまえて、全店統一の改修基準を定め、有人店舗をはじめとする店舗において、段差解消のほか自動ドアや車いすでも利用できるトイレ・駐車場、視覚障害者対応ATMなどの整備を全国的に広範に実施したほか、障害の種別に応じた対応マニュアル整備や研修の実施等による接遇の向上など、ハード面・ソフト面から利用しやすい銀行店舗づくりに全社的に取り組んだことを高く評価し、表彰対象といたしました。

「音羽山 清水寺」につきましては、国宝・重要文化財として建造物の改修上の制約が多く、また高低差の大きい傾斜地という厳しい条件にある境内において、関係機関との調整を重ね、障害者等用の車によるアクセスを確保し、車いす用使用者等のための参道の舗装や、音羽の滝付近の階段部の路面の大幅な切り下げによるスロープ整備をはじめとする境内一周参拝ルートの整備のほか、境内複数箇所に多機能トイレを整備、手で触れるこ



選考風景

とのできる観音像を奉祀するなど、多数の観光客が訪れる寺社地のバリアフリー化に取り組んだことを高く評価し、表彰対象といたしました。

「北大阪急行電鉄株式会社・吹田市・豊中市」につきましては、両側を幹線道路に挟まれた傾斜地の谷部にあり、また市境に位置する桃山台駅及びその周辺区域において、両市が共同でバリアフリー基本構想を作成した上で、3者が計画から実施段階に至るまで関係機関と協議を重ね、当初計画から大幅に整備内容を拡充して、駅舎を新たに設置しエレベーター等を整備したほか、国道を立体横断する歩行者用通路等を整備して、周辺住宅地へもつながるフラットなルートを確保し、条件の厳しい既存鉄道駅において事業者と地方公共団体が一体となってバリアフリー化を実現したことを高く評価し、表彰対象といたしました。

今回ご推薦いただいたものには、それぞれ特徴のある取組みも多く、今回受賞とならなかったものにも、優れた取組みがありました。

受賞された方々も、また、残念ながら受賞とはならなかった方々も、引き続きこのようなすばらしい取組みを継続的に進めていただくことを期待するとともに、それを通じて我が国の生活環境の一層のバリアフリー化が進展することを、選考委員一同、祈念しております。

<選考委員一同>



三星 昭宏 委員
(近畿大学 教授)

講 評

受賞者は、国際線ターミナルビルの新設に当たり、基本設計時から有識者や障害当事者等によるUD検討委員会のほか、多様な障害者が参加した当事者WGやUDの専門家WGを高頻度に開催し、当事者等の意見を設計や工事に反映。手動車いすで利用できる一般便房、弱視者に配慮した設備、エスカレーター逆進入防止設備、6カ国語によるサインの整備など、高度なバリアフリー化を実施したことを高く評価し、また、地方空港のモデルとして今後の取組みにも期待し、表彰することとした。

受賞者の取組み

◆有識者や障害当事者等の意見反映

受賞者は新千歳空港に国際線ターミナルビルが新設されることにあたり、基本設計時より、「ユニバーサルデザイン検討委員会」を設置し、有識者や空港利用者として想定される障害当事者、高齢者、子供連れの方、東アジア地域を中心とした外国人等、100名程度の幅広い関係者が参加し、案内誘導（視覚・聴覚）WG、授乳室WG、オストメイトWG、多言語WG、専門家WG等の各種WGやモックアップ（実寸大模型）での検証を重ね、設計や工事に反映した。



ターミナル内部

◆主なバリアフリー設備の整備

利用しやすいトイレの整備

(1) 手動車いすで利用できる一般便房

奥行きが200cm、幅が120cmと一般便房のスペースを広く確保しており、手動車いす使用者が容易に便房内で便座での移乗を可能としている。また、スーツケース等大きな荷物を所持している空港利用者にとっても十分な寸法となっている。



モックアップ検証の様子

(2) 一般便房へのオストメイト用パウチ洗浄器具設置

オストメイトの方からの意見を踏まえ、一般便房でもパウチ洗浄ができないか検討し、メーカーと協力して新たな製品を一般便房へ導入した。



一般便房（外観）



一般便房（内部）

6カ国語によるサインの整備

東アジア地域の観光客等が多く利用されることを想定し、隣国の6カ国の言語（日本語、英語、繁体語、簡体語、韓国語、ロシア語）をサインとして表示。また、言語間の意味の統一も可能な限り図った。

弱視者に配慮した設備

トイレは、壁に照明を当てたり、天井部の輪郭に間接照明を当て、空間の視認性を高める配慮をしている。

また、便器周辺の壁は黒色とし、コントラストをはっきりさせた。なお、サイン表示は、ピクトや盤面の色、フロアマップなど弱視者の確認を踏まえたものとしている。



サイン

リー化

授乳室の整備

(1) 車いす利用者も利用できる設計

車いす利用者でも洗面台が使えるようカウンターに蹴込みを入れ、また鏡の位置を低くする等の配慮を行った。

(2) 子供連れの方の意見を踏まえた配慮

ミルクを作る際の熱湯の使用について、安全に熱湯を汲むことができるサーバを設置した。また、授乳スペースは個室となるため、すぐに呼び出しができるよう緊急用ブザーを母親が押しやすい場所へ設置した。

エスカレーター等への逆進入防止装置設置

エスカレーター及び歩く歩道の進入口にLEDの誘導灯を設置し、運転時であっても逆方向からの進入時にはブザー音が鳴るセンサーを新たに開発し、設置している。



授乳室



逆進入防止装置 (囲み部分)

◆ 今後期待される取組み

今後も障害当事者等の参加によるチェック・評価を継続的実施することはもとより、国際線ターミナルビルのみならず、隣接する国内線ターミナルビルや別事業者が管理する駐車場・JRなどの空港周辺施設について、一体化したバリアフリー化に取り組むことが期待される。

喜びの(声)



北海道空港株式会社

代表取締役社長 山本 邦彦 氏

《コメント》

このたびは栄誉ある賞を頂き、誠に光栄に存じます。関係者の皆様に心より感謝申し上げます。今回の受賞を励みに、今後もユニバーサルデザインの考え方にに基づき、お身体の不自由な方、外国人の方、小さなお子様をお連れの方など、誰もが使いやすい快適な空港を目指して参ります。

【受賞者】

北海道空港株式会社

【連絡先】

TEL 0123-46-5111 (代表)

【活動等の経緯】

- 平成18年 4月 国土交通省東京航空局が国際線旅客ターミナルビルの構内営業予定者の公募開始
- 平成18年 9月 構内営業予定者に選定
- 平成18年12月～ 基本設計
 - ・UD検討委員会の立ち上げ
- 平成19年 4月～ 実施設計
 - ・動線、サイン、トイレ等各種WGでの検討を開始
 - ・先進事例(他空港等)実地検証
- 平成20年 5月～ 工事着工
 - ・トイレ、授乳室モックアップ(実寸大模型)検証
- 平成22年 1月 完成
- 平成22年 3月 供用開始

【Web - URL】

<http://www.new-chitose-airport.jp/ja/>

東京国際空港ターミナル株式会社・京浜急行電鉄株式会社 空港ビルと駅が一体となった先導的なバリア

講 評

受賞者は、東京国際空港国際線ターミナルの新設に当たり、有識者や障害当事者等を中心とする「UD 検討委員会」の設立や、委員としての参画、多様な障害者を招き高頻度で開催された当事者ワークショップにおける意見等を設計や工事へ反映するなど、ターミナル全体におけるユニバーサルデザインに配慮を行うほか、鉄道駅ホーム階と到着・出発階を直接結ぶ複数の大型エレベーターの整備、モノレールのホームから出発ロビーまで短く、フラットな動線の確保など、ターミナル施設全体における高度なバリアフリー化を実現したことを評価し、表彰することとした。

受賞者の取組み

<取組みの概要>

東京国際空港国際線地区旅客ターミナルビル等整備・運営事業において、「高齢者、障害者をはじめ、すべての利用者が安全かつ円滑に利用できること」を基本とした、ターミナルの設計段階から幅広い関係者からの多様な意見・提案を反映させた「参加型」のユニバーサルデザインを導入し、整備を進めた。また、異なる三者の事業主体が一体となって、階層構成、利用者動線、駅の位置などの検討がなされた。

◆当事者参加型のデザイン設計

国際線ターミナルの設計・施工段階において、整備計画の検証・評価・改善することを目的に有識者・障害者・関係事業者・地方自治体等をメンバーとした『UD 検討委員会』において設計内容の改善等の検討及びその反映を行った。

また、具体的な評価・検証を行うに当たって、多様な利用者の視点にて実施するため、多様な障害者を中心に有識者・設計者・施工者等をメンバーとする『UD ワークショップ』を40回程度実施し、そこで既存施設の実地確認や整備計画に基づくサンプル及びモックアップを作成した上で多角度からの検証・分析を行い、改善提案・施工反映を行った。

◆補助犬トイレの設置

補助犬を使用する者のため、長時間飛行の前後における補助犬の排泄に配慮するため、補助犬トイレをターミナルビル内の案内カウンターに近接した場所に設置した。

◆ソフト面での対応

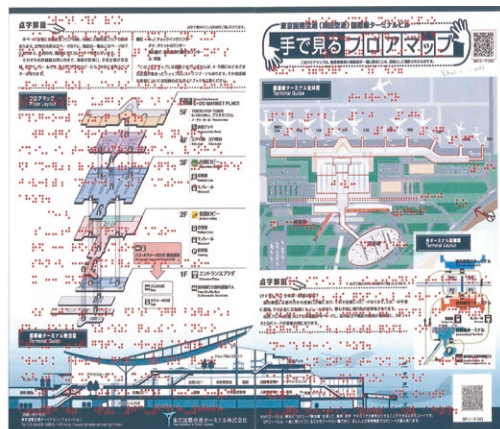
国際線ターミナルの案内カウンター及び館内各所にコンシェルジュを配置し、視覚障害者のために作成した『手で見えるフロアマップ』『点字パンフレット』や聴覚障害者のために作成したコミュニケーション支援ボードや磁気ループを設置することで、より円滑なコミュニケーションを図ることができることとした。



国際線ターミナル内部



聴覚障害者専用の非常ボタンを設置したエレベーター
(非常ボタン写真)



『手で見えるフロアマップ』

社・東京モノレール株式会社 フリー化

また、駅においてもコンシェルジュを配置するほか、モノレールにおいては車両とホームとの隙間を無くす可動ステップの導入、京浜急行においては可動式ホーム柵を設置するなど、利便性と安全の向上について配慮した。

◆鉄道駅・ターミナルビル間の乗継円滑化

国際線ターミナルビルの建設に合わせ、京浜急行電鉄が羽田空港国際線ターミナル駅を新設し、地下に設置されるホームと到着・出発階をダイレクトに結ぶ複数の大型エレベーターや直通エスカレーターを設置した。

また、東京モノレールは、国際線ターミナルビルに隣接するように軌道を変更し、羽田空港国際線ビル駅を新設し、モノレールのホームから出発ロビーまでフラットな動線を確認した。



京浜急行・空港ターミナルビル間乗換口



モノレール・空港ターミナル間乗換口

◆今後期待される取組み

供用開始後も『UD 検討委員会』を引き続き設置することとしていることから、ターミナル利用者の利便性を維持・向上するため、継続的にユニバーサルデザインの検証を行い、必要に応じて「スパイラルアップ」を行うことが期待される。

喜びの(声)



東京国際空港ターミナル株式会社
代表取締役社長
霜田 明彦 氏

《コメント》

受賞に当たり、関係者の皆様に心より御礼申し上げますと共に、当社のユニバーサルデザインへの取組が評価され大変光栄に存じます。ここを新たなスタートとし、今後も「全てのお客さまに優しいターミナル」を目指し努力して参ります。

【受賞者】 東京国際空港ターミナル株式会社

【連絡先】 TEL 03-6428-5931

【活動等の経緯】

平成18年 9月 UD 検討委員会開始
(平成22年10月まで10回開催)

平成20年 5月 工事着工

平成20年 6月 UDWS 開始

(平成22年9月まで38回開催)

平成22年10月 供用開始

【Web - URL】 <http://www.haneda-airport.jp/inter/>



京浜急行電鉄株式会社
取締役社長
石渡 恒夫 氏

《コメント》

受賞にあたり、関係者の皆様に心から御礼申し上げるとともに、当社の取り組みを評価いただいたことを大変うれしく思います。羽田空港の国際化により、京急沿線は世界と結ばれることとなります。今後も国内外のお客様に、わかりやすくまた使いやすい駅を目指して参ります。

【受賞者】 京浜急行電鉄株式会社

【連絡先】 TEL 03-5789-8686

【活動等の経緯】

平成22年10月 羽田空港国際線ターミナル駅開業

【Web - URL】 <http://www.keikyu.co.jp>



東京モノレール株式会社
代表取締役社長
中村 弘之 氏

《コメント》

受賞の栄に浴し、社員一同感激しております。関係者の皆様に心より御礼申し上げます。羽田空港ご利用者にとってバリアを感じない、安心・便利な交通アクセスとして評価いただけるよう、連携も強化しながら、さらに精進してまいります。

【受賞者】 東京モノレール株式会社

【連絡先】 TEL 03-5470-3816

【活動等の経緯】

平成22年10月 羽田空港国際線ビル駅開業

【Web - URL】 <http://www.tokyo-monorail.co.jp/>

講 評

受賞者は、誰にでも利用しやすい銀行を目指した「ハートフルプロジェクト」を立ち上げ、有識者によるアドバイスをふまえて、全店統一の改修基準を定め、有人店舗をはじめとする店舗において段差解消のほか自動ドアや車いすでも利用できるトイレ・駐車場、視覚障害者対応 ATM などの整備を全国で広範に実施したほか、障害の種別に応じた対応マニュアル整備等による接客向上など、ハード面・ソフト面から利用しやすい銀行店舗づくりに全社的に取り組んでいることを高く評価し、また銀行業界のトップランナーとして今後のさらなる取組みにも期待し、表彰することとした。

受賞者の取組み

◆バリアフリー設備の整備

みずほ銀行では、誰にでも利用しやすい銀行とするため、平成17年11月に「ハートフルプロジェクト」を立ち上げ、ハード面・ソフト面・ハート面から以下のような取組みを全行的(有人店舗430店舗)に推進し、バリアフリー化・ユニバーサルデザイン化に取り組んでいる。

全国の店舗に展開するにあたり、利用客から「お客さまの声カード」を回収し、また有識者や障害者を「ハートフルアドバイザー」として招聘することで、各意見等を踏まえた取組みを展開している。また、六本木・横浜前・大船支店を「ハートフルプロジェクトモデル店舗」とし、新しい取組みを試行し、その結果を他店舗に反映させている。

ハード面の取組み

ハード面の整備を取組むにあたり、平成18年度に「みずほハートフル店舗改修基準」を策定し、これに基づき「8つの基本スペック」を定め、店舗のハード面での整備を全国的に進めてきている。

これに加え、ロビーのソファを背もたれ付きでカバーを簡易に交換できるものに、トイレの自動ドアを反転装置付きに、エレベーターをマルチセンサー付きにそれぞれ変更したり、店舗出入口付近に店舗内のバリアフリー状況が分かる「サービスマーク」を掲示するなどの安心・安全面への配慮も重視している。

さらに、店舗レイアウトに応じて車いす対応の貸金庫ブースや優先 ATM を設置する他、ビル内にエレベーターや多機能トイレがない場合に、新たに当該設備を設置・提供するなど、店舗利用客以外も含め、利便性の向上にも努めている。

【8つの基本スペック 整備状況】

(2010年9月末)

①入口の自動ドア設置	418 店舗(428 店舗中)
②段差解消	385 店舗(404 店舗中)
③通路幅整備	369 店舗(423 店舗中)
④視覚障害者誘導設備	363 店舗(417 店舗中)
⑤車いす使用者用駐車場設置	178 店舗(178 店舗中)
⑥お客さま用エレベーター設置	188 店舗(188 店舗中)
車いす対応エレベーター設置	129 店舗(129 店舗中)
⑦お客さま用トイレ設置	301 店舗(301 店舗中)
多機能トイレまたは車いす対応トイレ設置	180 店舗(180 店舗中)
⑧視覚障害者対応 ATM 設置	428 店舗(428 店舗中)



バリアフリー化された店舗



出入口のサービスマーク

ソフト面の取組み

身体が不自由な方への対応として、各種伝票等の改訂、HPのリニューアル、ホワイトボードやコミュニケーションボードの設置等を行っている。

さらに、HP上や店舗の出入口等で、各店舗のバリアフリー整備状況を公開している。

ハート面の取組み

行員が利用客に適切な対応をするため、障害の種別に応じた対応マニュアル等を整備し、全行員に配布するとともに、毎年フォローアップ研修や新人研修を行い、利用客への接遇向上を図っている。

また、これらの研修に用いるビデオには当事者本人にも参加してもらい、行員に対し実際にどのような接遇が必要なのかを理解させるよう努めている。



フォローアップ研修



ホームページでのバリアフリー情報



ロビーコンシェルジュ

◆ 今後期待される取組み

今までの店舗改修の効果の把握や評価を行うこと、フォローアップ研修等の内容や実施方法の充実などによるスパイラルアップを図ることにより、さらなるバリアフリー化に取り組むことが期待される。

喜びの(声)



株式会社みずほ銀行

取締役頭取 西堀 利氏

《コメント》

この度は、大変名誉な賞を頂き、誠にありがとうございます。また、関係者の皆さま方には、厚く御礼申し上げます。

高齢社会の進展や障がいをお持ちの方々の社会・経済活動への積極的な参加の実現が求められている中、弊行では「年齢・性別・障がいの有無に関わらず、誰にでも利用しやすい銀行」を目指し、多面的なバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化への取り組みを、全国の店舗にて地道に実践してまいりました。

今後も、一人でも多くのおお客様にご利用いただき、そして「みずほでよかった。」とご満足いただける銀行を目指してまいります。

【受賞者】

株式会社みずほ銀行

【連絡先】

TEL 03-3596-1111

東京都千代田区内幸町一丁目1番5号

【活動等の経緯】

平成14年 みずほ銀行発足

平成17年 ハートフルプロジェクト発足

バリアフリー化のコンサル導入

平成18年 ハートフルアドバイザー4名招聘

バリアフリー化工事本格開始

平成19年 日本福祉のまちづくり学会出展

【Web - URL】

<http://www.mizuho.co.jp/>

音羽山 清水寺

重要文化財を活かした寺社地のバリアフリー

講 評

受賞者は、国宝・重要文化財として改修上の制約が多く、また高低差の大きい傾斜地という厳しい条件にある境内において、車いす用の舗装や参拝路の大規模改修によるスロープ整備をはじめとした段差のない境内一周ルートの整備のほか、障害者等用の車によるアクセスの確保や複数箇所の多機能トイレ整備、手で触れる観音様の奉祀などバリアフリー面の配慮を重視し、観光客の多い京都でも最も多くの人が訪れる寺社地において、重要文化財を活かしたバリアフリーに取り組んでいる点を評価し、表彰することとした。

受賞者の取組み

◆ 取組みの概要

文化財の保存や景観に配慮した段差解消、参道舗装

清水寺では、山裾に位置する傾斜地の境内に国宝の本堂をはじめ数多くの重要文化財の建造物等が建ち並んでおり、バリアフリー化には厳しい条件下にあるが、関係機関と協議を重ね、文化財の保護や景観保全への配慮をしつつ、できる限り車いすでも境内を周遊できるよう、これらの間を結ぶ段差のない舗装参拝路や建物内外の段差を解消するスロープ板などを随所に整備した。

音羽の滝周辺の階段部も大規模改修でスロープ化、境内一周参拝ルートを整備

境内の参拝路で最も低い場所にある「音羽の滝」周辺は、従前、階段が多く段差が解消されていなかったが、崖部に迂回路を設置して多数の観光客の経路を確保しつつ、大規模な路面の切り下げを行った上で景観面からの復旧工事を行い、風致を損ねることなく参拝路をスロープ化することで、境内を一周できる段差のない参拝ルートの整備を完成させた。



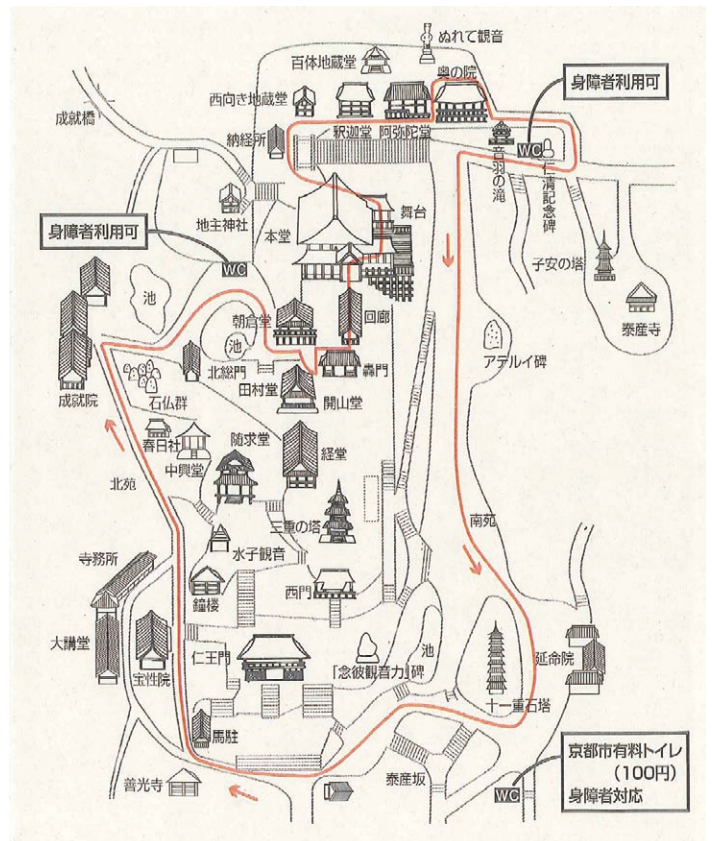
本堂横のスロープ



車いす用舗装部



音羽の滝付近の参拝路



境内参拝ルート (赤い線が車いす用ルート)

参拝ルート上への複数の多機能トイレの設置

障害のある人等が安心して参拝ができるよう、段差を解消した参拝ルート上の3つのポイントに多機能トイレを設置した(うち1箇所は京都市による整備)。

拝観入口付近までの車のアクセス確保

車いすを使用する人等の清水寺へのアクセスは一般に車の利用が想定されるが、境内入口から本堂拝観入口付近までは長大な階段が多いことから、別途、拝観入口付近まで車でアプローチできる経路を確保している。

「ふれ愛観音」の奉祀

手で触れてお参りすることができる「ふれ愛観音」を奥の院にお祀りし、視覚障害のある人等も参拝を実感しやすいよう配慮をしている。



音羽の滝付近トイレ



ふれ愛観音(奥の院)

◆ 今後期待される取組み

これまでは段差のない参拝ルートの整備など主として車いす使用者や高齢者に配慮したバリアフリーへの取組みが行われてきたが、今後は、視聴覚の障害のある人への配慮の充実や、各種サイン等の設備の整備水準の向上、一般への情報発信の充実などを含め、京都市内でも随一の多数の参拝者が訪れる寺院として、さらなるバリアフリーへ向けた継続的な取組みが期待される。

喜びの(声)



音羽山 清水寺
貫主 森 清範 氏

《コメント》

この度、このような名誉ある賞を頂きまして、心より感謝申し上げます。

清水寺は、宝亀9年(778年)に創建されて以来、観音霊場として、多くの方々に御参詣賜っております。その歴史は「枕草子」「源氏物語」をはじめ、古典文学などに数多く語り継がれております。また、過去10回を越す焼失にも関わらず、多くの方々のお力により、再建された、大衆信仰に支えられてきた古刹であります。

このような中で、現代にあってお参り頂く為、参って良かったと思って頂くよう、努力を重ねてまいりました。

今後とも参拝者の方々にとってより良い環境づくりを目指して努力を重ねていく所存であります。

【受賞者】

音羽山 清水寺

【連絡先】

TEL 075-551-1234

京都府京都市東山区清水1丁目294

【バリアフリーに関する活動等の経緯】

境内におけるスロープの設置など、細かい改修をすすめると共に補修工事の折などに少しずつ、境内参道などを改修。平成12年の御本尊御開帳を機に多目的トイレの設置などバリアフリー改修工事を順次実施。

音羽の滝周辺のバリアフリー改修工事が平成21年4月に竣工し、境内を一周できる段差のない参拝ルートが完成。

【Web - URL】

<http://www.kiyomizudera.or.jp>

北大阪急行電鉄株式会社・吹田市・豊中市 鉄道事業者と複数自治体の連携による桃山台

講 評

受賞者は、両側を幹線道路に挟まれた谷部にあり、市境に位置する鉄道駅において、協働で移動等円滑化基本構想を作成し、計画から整備に至るまで関係機関と協議を重ねた上で、駅舎を新設し、エレベーターや国道を立体横断する通路等を整備して周辺住宅地への段差の無いルートを確認し、条件の厳しい中、事業者と地方公共団体が一体となったバリアフリー化を実施したことを評価し、表彰することとした。

受賞者の取組み

◆ 基本構想の協働作成

桃山台地区では、駅構外からホームまでの経路に多くの段差があり、車いす利用者や高齢者の方にとって使いにくく、駅舎の早急な改善が望まれてきた。このため、吹田市と豊中市の市境においても連続した移動経路を確認し、切れ目のない一体的なエリアとしてバリアフリー化を進めるため両市が協働で基本構想の策定を行った。

◆ 駅舎の新設および連絡通路の整備

桃山台駅のバリアフリー化は既存の駅舎では構造上困難なため、基本構想において新たに駅舎を新設することにした。さらに、実施段階においても関係機関等との協議を継続し、より安全な移動ルートが確保できるよう、交通量の多い国道の平面横断を避け、立体横断とする橋上形式に計画変更し整備を行った。

具体的には、駅舎を新設して構内にエレベーターとエスカレーターを設置、構外においては橋上の新駅舎に接続する連絡通路から地上の歩道へ通じるエレベーターを設置した。さらに、鉄道事業者と吹田市・豊中市が連携しながら、既存の歩道橋を延伸し連絡通路に接続した。その結果、国道の平面横断を避け、周辺住宅地から新駅舎までの安全なルートを確認するとともに、利便性の向上につながる立体的なバリアフリー化を実現した。



事業前の桃山台駅周辺



現在の桃山台駅周辺

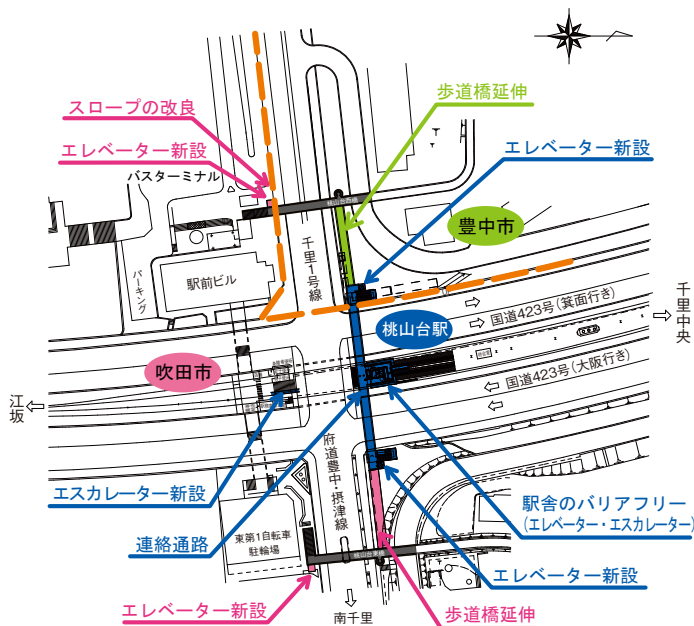


出来上がった駅舎、連絡橋

南側より撮影

駅及び周辺のバリアフリー化

桃山台駅及び周辺施設バリアフリー整備図



協働で基本構想を作成

凡例	
	市境界
	北大阪急行電鉄の事業
	豊中市の事業
	吹田市の事業

◆ 整備にあたっての周辺住民の意見の反映

北大阪急行電鉄株式会社は、吹田市・豊中市と互いに協力し、周辺住民に対し基本構想策定後も事業計画説明会、進捗状況説明会等の話し合いの場を随時に設けるなど、整備にあたって周辺住民の意見の反映に努めた。

その結果、駅舎から周辺住宅地までの快適な移動ルートを確認するための既存歩道橋の連絡通路への延伸接続、寄り付きのよい車いす対応券売機の設置等に結びつけた。

◆ 今後期待される取組み

今後は、視覚障害のある方への配慮の充実や各種設備の整備を含めた、既存駅舎における更なるバリアフリーの取組みが期待される。

喜びの声



北大阪急行電鉄株式会社
代表取締役社長
齋 恒三 氏

《コメント》

この度の受賞にあたり、ご支援、ご協力いただいた関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。これからも、地域との心のふれ合いを大切に、安全、安心、快適な輸送サービスの提供に努めてまいります。

【受賞者】 北大阪急行電鉄株式会社
【連絡先】 TEL 06-6865-0601
大阪府豊中市寺内2丁目4番1号

【活動の経緯】

- 平成18年3月 吹田市・豊中市「桃山台地区交通バリアフリー基本構想」策定
- 平成19年11月 桃山台駅バリアフリー化工事着手
- 平成22年4月 新駅舎エレベーター・エスカレーター・多機能トイレ・豊中市連絡通路供用開始
- 10月 既設駅舎エスカレーター供用開始
- 11月 吹田市連絡橋供用開始

【Web-URL】 <http://www.kita-kyu.co.jp>



吹田市
吹田市長
阪口 善雄 氏

《コメント》

栄誉ある賞を頂き大変光栄です。ご協力を賜りました地域の皆様をはじめ関係各位に心よりお礼申し上げます。今後とも「だれもがやさしくなる吹田のまちづくり」に努め、バリアのないまちをめざしてまいります。

【受賞者】 吹田市
【連絡先】 TEL 06-6384-1231 (代表)
大阪府吹田市泉町1丁目3番40号

【活動の経緯】

- 平成15年4月 吹田市交通バリアフリー化の基本方針策定
- 平成18年3月 桃山台地区交通バリアフリー基本構想を豊中市と協働して策定
- 平成20年3月 市内9地区14駅周辺の基本構想策定完了
- 平成21年6月 桃山台地区交通バリアフリー道路特定事業計画策定
- 平成22年11月 竹見桃山専用1号線連絡歩道橋完成

【Web-URL】 <http://www.city.suita.osaka.jp/>



豊中市
豊中市長
浅利 敬一郎 氏

《コメント》

この度は、名誉ある賞をいただきありがとうございます。鉄道事業者と複数の地方公共団体が一体となったバリアフリー化の取組みを評価していただき、大変光栄に存じます。豊中市では「安全に元気に住み続けられるまち」をめざしており、今後は、よりきめ細かいバリアフリー整備に取り組んでまいります。

【受賞者】 豊中市
【連絡先】 TEL 06-6858-2525 (代表)
大阪府豊中市中桜塚3丁目1番1号

【活動の経緯】

- 平成14年6月 「豊中市交通バリアフリー化の基本方針」を策定
- 平成18年3月 桃山台地区の基本構想を吹田市と協働で策定
- 平成18年11月 市内13駅全ての基本構想策定完了
- 平成20年4月 桃山台地区道路特定事業計画を策定
- 平成22年3月 新千里南町歩第29号線歩道橋延伸工事完成

【Web-URL】 <http://www.city.toyonaka.osaka.jp/>

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.



【お問い合わせ先】 〒100-8919 東京都千代田区霞が関2丁目1番3号
国土交通省総合政策局安心生活政策課 TEL：03-5253-8111（代）